



令和8年3月17日
小田原市立矢作幼稚園
園長 石川 浩一

りす組のみなさん、ご卒園おめでとうございます。矢作幼稚園で過ごした2年間はどうか。たくさんの思い出がつかれましたか。4月からは、1年生です。幼稚園では1番上の組でしたが、小学校では1番下の組になります。そして、幼稚園に比べて人数も多いです。それだけたくさんの友達と出会えたり、知らないことをたくさん勉強できたり、楽しい行事がいっぱいあったり等、良いことも山ほどあります。ぜひ、小学校生活を楽しんでください。

園長先生は、りす組のみんなが初めての卒園生になります。ずっと心に残る子どもたちになります。これからのように成長していくか楽しみです。

3月2日（月）に、りす組のお別れ会が開催されました。短い時間でしたが、園児・保護者の皆さん・職員たちと素敵な時間が共有でき、一人ひとりの心がすごく温かくなりました。この会を企画・運営して下さった保護者の方々、本当にありがとうございました。卒園しても、いつでも幼稚園に遊びにいらしてください。いつでも大歓迎です。「いつでもどこでもだれとでもウェルカムな幼稚園」を目指してがんばります。引き続き応援をよろしくをお願いします。



矢作幼稚園に関わるみんなで充実させたい「やはぎっ子育成プラン」

矢作幼稚園では、やはぎっ子育成プランを作成し、「関わり合う」活動を意図的・計画的・組織的に仕組み、1年間を通して継続的に子どもたちに体験させることで、たくさんの学びができる幼稚園になるよう努力してきました。

右の表は、3学期のところだけ抜き取った表です。

- ・①については、「ようちえんDE遊ぼう！」に来園された保護者の方から「ホームページを見てきました。」と言っていただき、大変うれしく思いました。
- ・②については、卒園に関する様々な活動が展開され、充実感・達成感・満足感などが味わえました。
- ・③については、例えば、お店屋さんごっこでは、くじ引きを取り入れて来客を楽しませようというアイデアを盛り込み、以前よりワクワクした気持ちでお客さんに楽しんでもらえました。その様子を見て、子どもたちは自信をつけているようでした。

1学期・2学期を体験して、ステップアップした学びができるようになった3学期と評価できると思います。

このように、やはぎっ子育成プランを充実させるために、幼稚園の職員だけでなく、保護者の皆様や保護者ボランティアの方々、外部のボランティアの方々、地域人材等、幼稚園を支える方々に1年間を通して切れ目なく継続的に支援・協力をいただきました。そのことによって、多方面から子どもたちを育てることができました。今後もこういった「開かれた幼稚園」を目指し、みんなで築く幼稚園にしていきたいと願っています。

		3学期 1月2月3月まで
		別れを惜しむとき
①	かかわり合う場や機会	やはぎっ子の一日で、その姿を発信中（ホームページ掲載）
②	子どもの成長の姿	生かす ・思い出に残る過ごし方をみんなで楽しくすることができる。
③	子どもの学びの姿	楽しむ ・できるようになった内容や方法等で、色々なことを工夫して楽しむことができる。



第2回幼稚園関係者委員会(令和8年2月26日)が開かれました。

前述のような園づくりを支えてくださるのが幼稚園関係者の方々です。始めと終わりの年間2回の話し合いが開かれ、幼稚園の運営・経営についてご意見やご感想等をいただきます。

第2回目の今回の話し合いについて簡単に報告いたします。

1 保育参観(10:00~10:30)

前半は、りす組(年長)「お店屋さん」です。子どもたちは、今までのお店屋さんの経験から、「くじ引き」を取り入れれば来客がより一層ワクワクできると考え、作成をすることにしました。関係者委員の方々もくじを引いて、景品をもらい、出来栄にとっても感心していました。

後半は、さくら組(年少)「からだをたくさん動かそう」です。子どもたちは、さまざまな器具を組み合わせて、体を目いっぱい動かせるようにして楽しんでいました。この組み合わせ方や、遊び方等を変えて、難度を高めてチャレンジする姿は、1年間を過ごしてきた成長が見られるところでした。

その後、りす組の子どもたちが合流し、関係者委員の方々にお礼をして自作のありがとうカードをプレゼントしました。皆さんの喜んでる姿を見てとても満足そうでした。



2 報告事項(10:30~11:30)

(1) 令和7年度幼稚園教育活動について

・『未来へつながる学校づくり』成果の報告をしました。中でも、もちつき行事は、今でも自宅やどんど焼きでしていることや、昔は食べることもできたこと、家庭ではできないことを園で経験できることは価値があるなどたくさんの思い出話の花が咲きました。



(2) 令和7年度幼稚園経営の反省について

・『幼稚園教育に関するアンケート』結果をお答えしました。保護者の皆様からお答えいただいた結果をグラフ化するとともに、その傾向と今後に向けての取り組みを説明しました。保護者の声からもおおむね園に対する評価は好意的ではありますが、その期待を裏切らないように努力を続けていくことが重要です。



・『学校評価』結果をお知らせしました。前期・後期と2回職員から自己評価をとり、その結果を話し合うようにしています。後期の結果については前期と大きな差は出ず、ほとんど弱みも強みも同じだったので、それらを年度当初に取り上げ、スタートから改善・改良を意識した園づくりができるようにしたいです。



(3) 令和8年度幼稚園経営に向けて

・『学校グランドデザインR8年度版』を提案しました。前年度に比べ大きくは変わっていませんが、園づくりの方法については、**具体的な努力点**を追加・明記するとともに、それらを実現するための指導の方針を具体的な手立てとして「**全体を見通した年間教育プランづくり**」と「**その推進のための職員間の効果的な連携づくり**」を打ち出しました。これらを説明し、承認をいただきました。来年度もご指導・ご助言をよろしく申し上げます。



(4) その他

- ・しつけは大切だが実態に合わないしつけ方をするとかえって委縮してしまうので、その点を念頭において、矢作幼稚園らしさを忘れず、伸び伸びとした子どもを育ててほしい。
 - ・「聞く・話す」の活動は、日常の会話等で自然に聞く・話すの活動ができるようにすればいいと思う。生活発表会等も聞く・話すの活動になっている。
 - ・小さい子どもには、考えや意見を求めるような関わりが大切である。
 - ・スピーチ活動は、工夫すれば、保護者ボランティアの活動として協力できるかもしれない。
 - ・整理整頓は、とても大事である。位置決めをすると、色々なことが効率化できる。小さい子には、具体的な絵や写真などで示されていると、取り組むことへの見える化ができてよい。
 - ・年度当初に立てた目標を自己評価・自己採点する等して、管理する体制を整えておくとうよい。
- 等の貴重なご意見もいただきました。1年間ご指導ご助言をいただきありがとうございました。



3学期も楽しい行事がいっぱいありました。色々な方々のご協力により、充実した学びの多い体験ができました。ありがとうございました。

■交通教室 1月30日（金）



「聞くと動くでは大違い！」遊戯室で学んだことを園庭で実践すると、なかなか思うようにいかず苦戦！

■豆まき 2月3日（火）



鬼からの手紙に！びっくり！鬼退治のためみんなで豆まきをしました。未就園の保護者の方も一緒に楽しみました。最後は、みんなで仲良くダンスをして一件落着！！「あ————よかった。」

■たべもの研究会 2月16日（月）



保護者ボランティア石丸由紀さん、下府中小学校の中村舞衣栄養士さんをお招きして、食育について学びました。石丸さんからは「黄色の食品」、中村さんからは「給食」について、具体的な教材を使って楽しくお話をしていただきました。小さいころから体についての興味関心が湧くようになりますね。

■げんきっ会パート4 2月24日(火)



自分の思いを具体的に見える形で実現できる楽しさを一人ひとりが味わっています。みんなで取り組むことでいろいろな学びがあることに体感的に気づいています。同じお店屋さんでも、前回の学びによって確実にバージョンアップしています。相手のこと(お客の立場)を考えたお店経営ができるようになっていきます。

■お別れ会3月2日(月)



保護者の方による企画でお別れ会が開催されました。ビンゴ大会や伝達お絵かきゲームなどをして、みんなで盛り上がりました。最後には、感謝の気持ちとして子どもたちは手作りの金メダルをプレゼントしました。少ない時間でしたが、心温まる素敵な時間を過ごすことができとても幸せな気持ちになりました。



卒園記念品

年長児の積立金で「ブルトゥーススピーカー2基」購入させていただきました。場面に合わせて適切な場所に置くことができるので音響効果に優れています。現在りす組・さくら組で大活躍中です。大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。



思い出に残る1年間ありがとうございました。とても楽しかったです！



矢作幼稚園を選んでくださったことに感謝する働き方は、職員はできていたでしょうか。私は1年目の園長として反省ばかりが残ります。小学校現場とのギャップに驚き、試行錯誤・悪戦苦闘の日も多くなりました。その中でよく思い出したことは、私が教員時代、尊敬する校長から「石川さん、保護者の方が学校のために協力している時間、もし働いていたらいくらになると考えたことはあるか」「そう考えるだけでも、感謝する働き方ができるだろ」「保護者は何も語らず無償で協力してくれている、そこがわかるようにならないと良い教員にはなれないぞ」と教えていただいたことでした。小学校・幼稚園と現場は違いますが、支えてくださる方々はどちらも一緒です。今後もこの教えを忘れず努力していきます。1年間ありがとうございました。